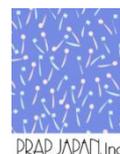




証券コード
2449

平成26年8月期第2四半期 決算説明会



平成26年4月18日

株式会社プラップ ジャパン

©2014 PRAP Japan, Inc. All rights reserved.

PRAP JAPAN, Inc.

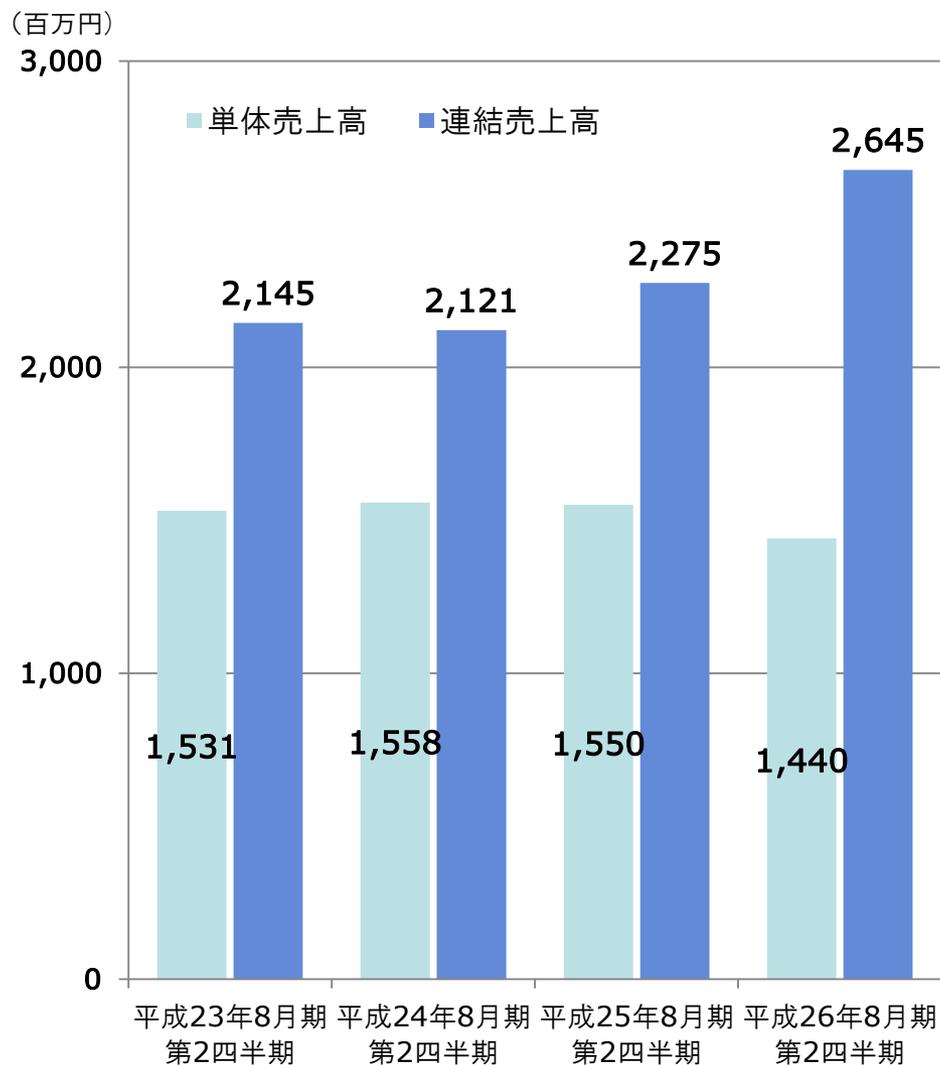
平成26年8月期第2四半期 連結業績の概況

(単位:百万円)

	平成23年 8月期 第2四半期	平成24年 8月期 第2四半期	平成25年 8月期 第2四半期	平成26年 8月期 第2四半期	前期比 増減率	予想比 増減率
売上高	2,145	2,121	2,275	2,645	16.3%	13.0%
営業利益	259	183	249	252	1.4%	-11.4%
経常利益	264	186	259	254	-1.8%	-11.0%
四半期 純利益	113	73	145	87	-40.0%	-38.7%

※予想比は平成25年10月11日発表の「平成26年8月期連結累計期間業績予想」との比較

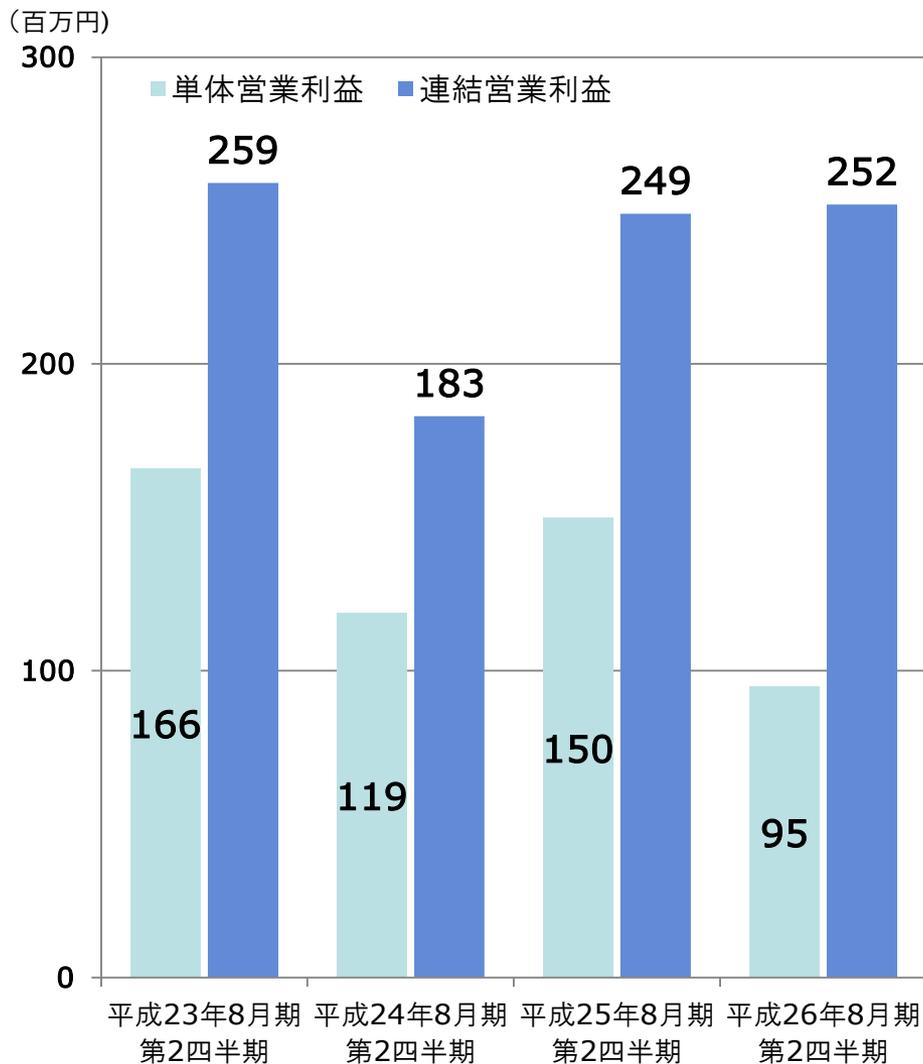
売上高の推移



概要

- 売上高は2,645百万円と前第2四半期に比べ370百万円の増収
- 中国子会社2社が大型イベントなど、複数のプロジェクト業務を獲得
- 前第2四半期より連結子会社化したウィタン社の売上高が寄与

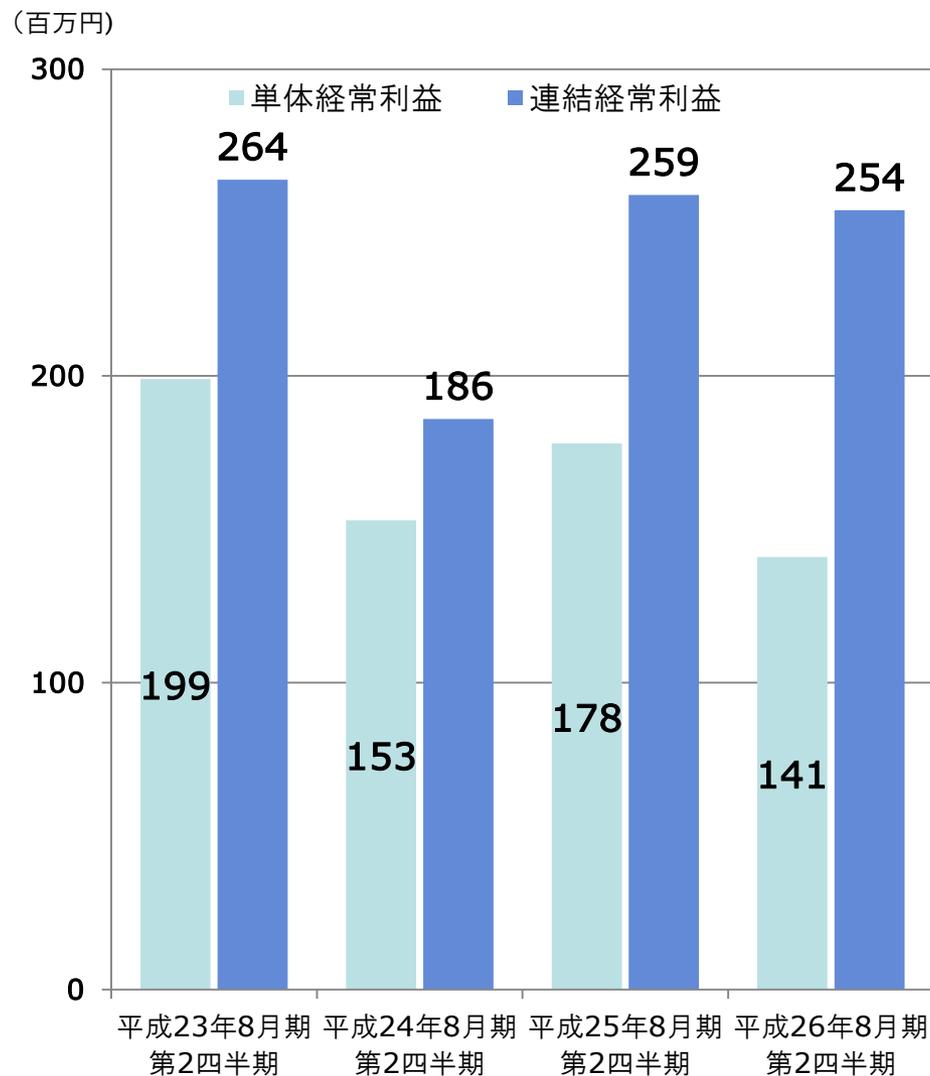
営業利益の推移



概要

- 営業利益は、252百万円と前第2四半期に比べ3百万円の増加
- 売上原価、販売費及び一般管理費の増加
- 特に中国連結子会社2社とウィタン社の収益が大幅に向上

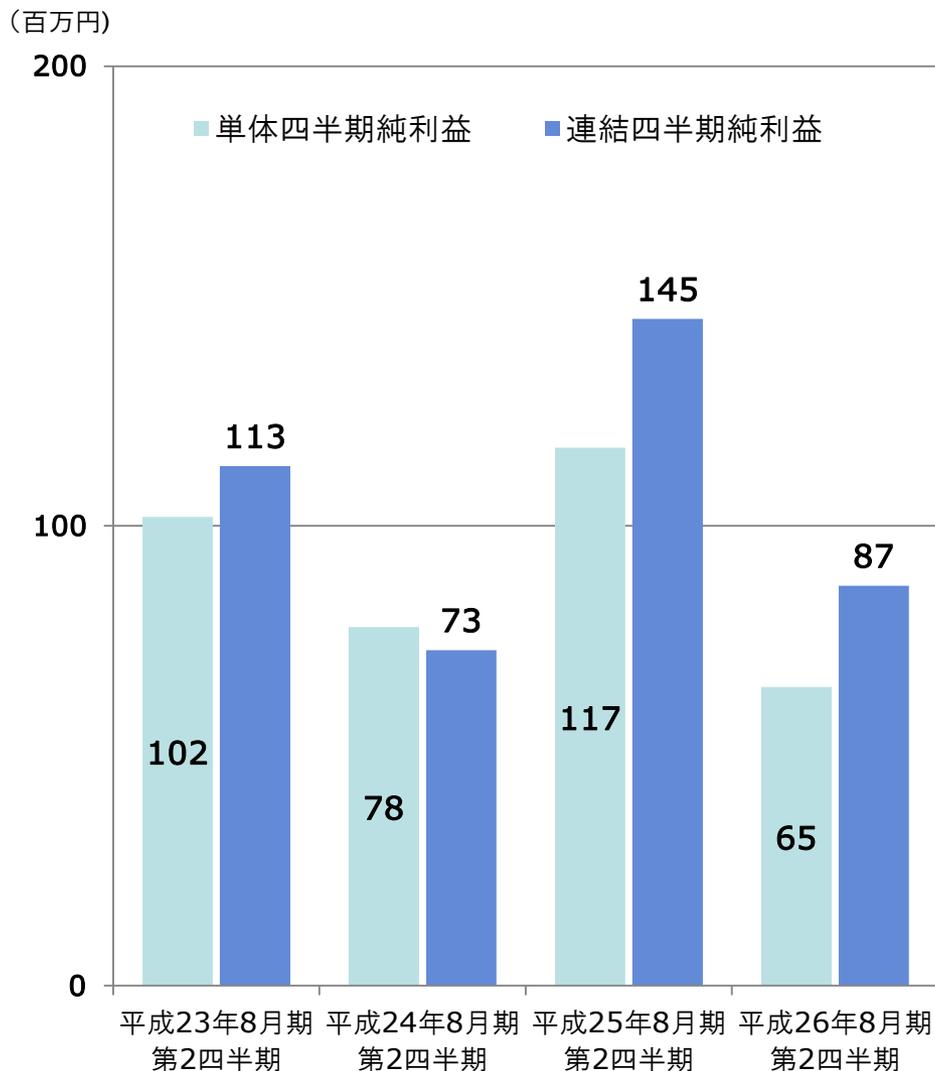
経常利益の推移



概要

- 経常利益は254百万円と前第2四半期に比べ400万円の減益
- 欧米系クライアントとの取引における為替差益が、前会計年度に比べ7百万円減少

四半期純利益の推移



概要

- 四半期純利益は、87百万円と前第2四半期に比べ58百万円の減益
- 当社創業者で元代表取締役会長の故矢島尚の役員退職慰労金の功績加算分などを特別損失として計上

連結ベースの営業概況

〔新規リテナークライアント〕

- 当連結会計年度は、新規リテナークライアントとして教育関連、航空会社、飲料、自動車、アパレル、化学メーカー、インターネットサービス、電気通信産業、オンラインゲームなどの企業を獲得

〔新規および既存顧客のプロジェクト業務〕

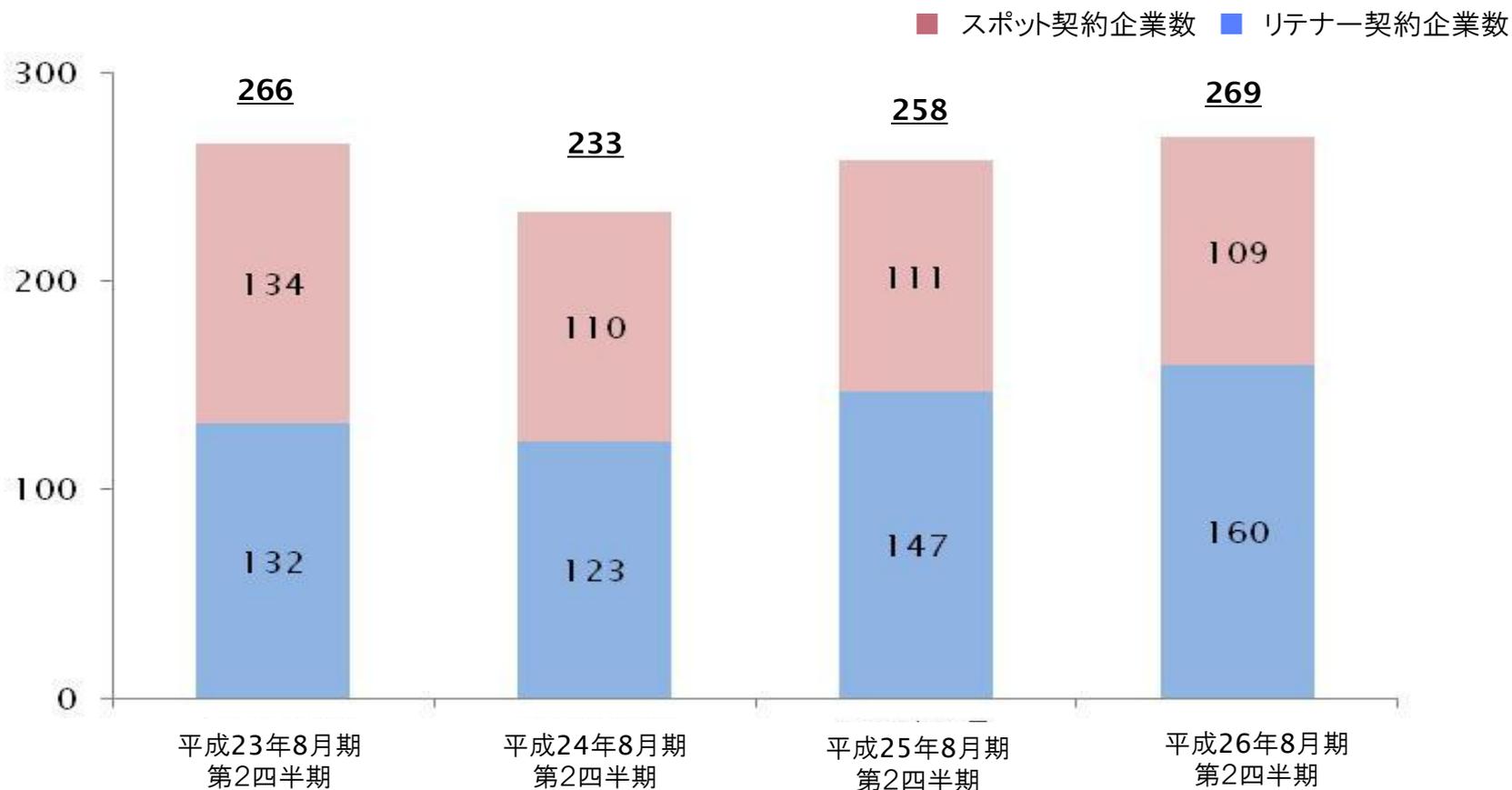
- 新規および既存顧客のプロジェクト業務としては、ヘルスケア、総合商社、消費財メーカー、化粧品、電機メーカー、食品、自動車などの企業を獲得

〔イベント関連〕

- クリエイティブワークでは、IT企業、百貨店、タイヤメーカーの社内報制作などを獲得
- 当連結会計年度のイベント制作関連では、外食産業の新製品発表会、CM発表会などを獲得

営業活動の概況

*プラップジャパン単体のみ



90%以上が代理店を経由しない直接取引→包括的なサービスを提供

平成26年8月期 連結業績の見通し

(単位:百万円)

	平成23年 8月期実績	平成24年 8月期実績	平成25年 8月期実績	平成26年 8月期予想	前年実績比 増減率
売上	4,063	4,254	4,810	4,994	3.8%
営業利益	422	447	555	583	5.2%
経常利益	427	447	591	607	2.8%
当期純利益	171	214	313	311	-0.8%



証券コード
2449

プラップジャパングループ 概要および今後の展望



PRAP JAPAN, Inc.

©2014 PRAP Japan, Inc. All rights reserved.

PRAP JAPAN, Inc.

会社概要

- 創 立 1970年
- 資 本 金 4億7千万円
- 代 表 者 代表取締役社長 杉田 敏
- 本 社 東京都港区赤坂1丁目
- 連結売上高 48億1,049万円(平成25年8月期)
- 連結従業員数 256名(平成26年2月末現在)
- 連結子会社



北京普樂普公共關係顧問有限公司<プラップチャイナ>
株式会社ブレインズ・カンパニー
株式会社旭エージェンシー
北京博瑞九如公共關係顧問有限公司<ブレインズチャイナ>
ウィタンアソシエイツ株式会社

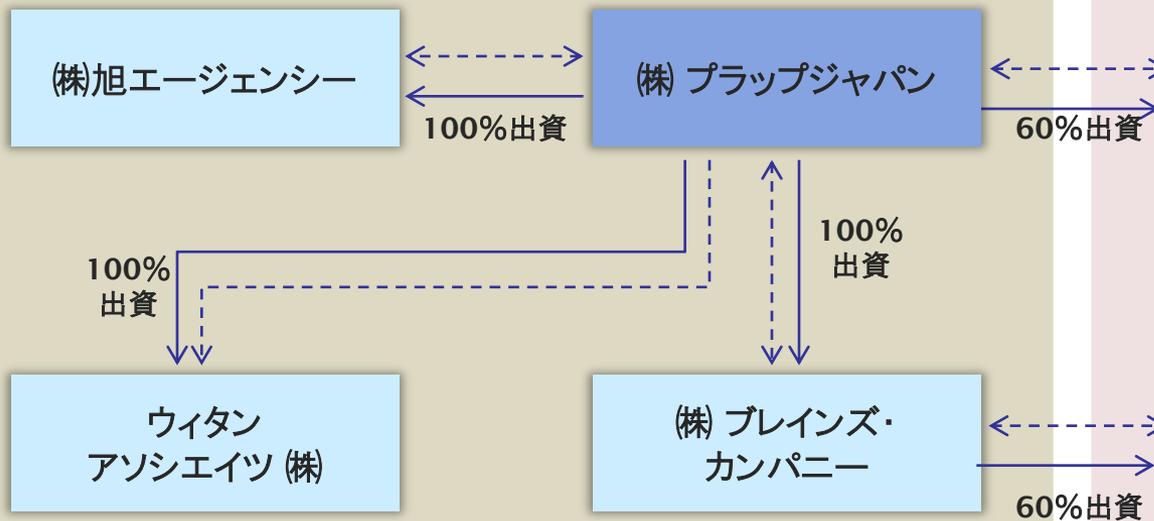
沿革

1970	港区南青山3丁目に設立 パブリシティ・編集制作
1973	文化事業スタート
1988	公共企業体広報部設立 クライシス対応スタート
1991	国際部設立 外資系企業へのサービス拡大
1997	北京普楽普公共関係顧問有限公司設立 PR部、国際部を「コミュニケーションサービス本部」へ、 イベント・マーケティング部・編集制作部を「クリエイティブ・サービス本部」へ
1999	コミュニケーションコンサルティングスタート(メディアトレーニング、 クライシストレーニング、広報セミナーなど)
2004	金融プロジェクトチームを新設
2005	JASDAQ上場
2006	戦略企画部設立
2008	情報セキュリティマネジメントシステム「ISO/IEC27001」を全社で取得
2009	株式会社旭エージェンシー・北京博瑞九如公共関係顧問有限公司を連結子会社化
2010	慶應義塾大学にてプラップジャパン寄付講座開講 DI(デジタルインフルエンス)事業推進室、WEBコミュニケーション部を新設
2011	デジタルPRの総合ポータルサイト Digital PR Platformのサービス開始
2012	ウィタンアソシエイツ株式会社を連結子会社化

プラップジャパングループ

国内市場

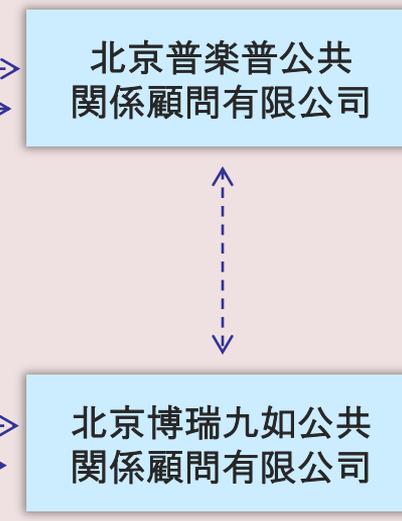
主に国内市場におけるPR活動全般を支援。旭エージェンシー、ウイタンアソシエイツは、欧州顧客のインバウンド施策に強み



—— 出資関係 - - - 取引関係

中国市場

主に中国国内におけるPR・マーケティング活動を支援



グループ会社概要

名称	株式会社 ブレインズ・カンパニー	株式会社 旭エージェンシー	ウィタンアソシエイツ 株式会社	北京普楽普 公共関係顧問 (プラップチャイナ)	北京博瑞九如公 共関係顧問 (ブレンズチャイナ)
創立	1974年	1980年	1982年	1997年	2008年
資本金	10百万円	20百万円	18百万円	37万USDル	20万USDル
代表者	小山 純子	長濱 嘉三	河上 貴己	CEO:杉田 敏	CEO:泉 隆
本社	東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル			(北京オフィス) 中国北京市東城区 東長安街1号東方広場 西1座弁公楼902室 (上海オフィス) 中国上海市淮海中路 93号大上海時代広場 弁公楼2509-10室	中国北京市東城区 東長安街1号東方広場 西1座弁公楼709室
従業員数	10名	7名	7名	52名	13名
特長	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング活動を支援するライフスタイル提案型の戦略的PRにおいて実績 アート、デザイン、食、ヘルスケア、美容などカルチャー分野に強み 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング・コミュニケーション・エージェンシーとしてマーケティングの入口から出口までをフルサポート 海外クライアントとの取引に多数の実績 	<ul style="list-style-type: none"> クロスボーダー・コミュニケーションおよびICT分野を中心としたB to B分野のPRにおいて高い実績 欧州のゲートウェイ・プログラムなどEUの公的機関を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 日本のPR会社として、他社に先駆け中国国内に現地法人を設立。現在、2現地法人、3事務所を拠点に事業を展開 中国市場において、日本企業のマーケティング活動において多数の実績 特に、インターネットマーケティング部を新設し「微博」などのデジタルインフラを活用したコミュニケーション活動に強み 	

平成26年8月期 下期成長戦略

人材開発の強化

営業組織体制の変更・HRD部門の設立

- HRD(Human Resource Development)部門設立

中途人材雇用の拡大

- 積極的採用活動の実施
- 管理職向け外部研修や海外研修

サービスの強化

個別PRサービスの強化

- デジタル分野
- 危機管理・クライシストレニングサービス

中国市場の強化および新たなマーケット開拓

グループ全体の業容拡大

- 協業体制の確立
- グループインフラの一元化

本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。ご承知おきください。

お問い合わせ

株式会社プラップジャパン 広報・IR室

TEL:03-4580-9125 E-mail:ir_info@ml.prap.co.jp